

結露チェッカー SK-130ITH

取扱説明書

SATO KEIRYOKI MFG.CO.,LTD.

はじめに

このたびは結露チェッカー「SK-130ITH」をお買いあげいただきありがとうございます。
 ◎この商品は、温度・湿度および表面温度をはかるものです。それ以外のご使用はしないでください。
 ◎ご使用前には必ず取扱説明書（本書）をお読みになり、大切に保管してください。

注意事項

警告	
	<p>爆発注意</p> <p>本器は防爆仕様構造ではありませんので、引火性ガスを含んだ雰囲気での使用は絶対にしないでください。爆発する恐れがあり大変危険です。</p>
	<p>レーザー注意</p> <p>レーザー光が目にあたると危険です。（クラス2レーザー製品）</p> <p>①レーザー光をのぞきこまないこと。 ②レーザー光を人に向けないこと。 ③子供には使わせないこと。</p> <p>●ご不明な点がありましたらお買いあげ店または弊社にご相談ください。</p>

注意	
	<p>本器を正しくご使用いただくために、以下のことを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準空気組成（一般大気）以外でのご使用は絶対にしないでください。 ・本器は防水構造ではありませんので絶対に濡らさないでください。 ・測定範囲外でのご使用はしないでください。本体・センサの故障の原因となります。 ・体温計としてのご使用はしないでください。 ・湿度センサには絶対に直接手で触れないでください。 ・本器が結露した場合は、すみやかに常温で自然乾燥させてから再度ご使用ください。 ・電氣的ノイズが発生する環境でご使用しますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。 ・分解、改造または規定電源以外のバッテリーを使用しますと、正確な測定ができなかったり、故障の原因となりますので、絶対にしないでください。また危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。 ・赤外線レンズ(測定窓)に埃が付着すると測定精度が悪化します。赤外線レンズ（測定窓）に埃やゴミが付着した場合は埃やゴミなどを取り除いてください。詳しくはP.6「保守」をご確認ください。 ・先がとがったもの、硬いもので赤外線レンズ（測定窓）に触れないでください。赤外線レンズ（測定窓）にキズが付くと測定精度が悪化します。 ・本器は精密にできていますので落下させたり、振動・衝撃を与えないよう注意してください。 ・直射日光のあたる場所や熱器具の近くでの使用はやめてください。正しい測定ができなだけでなく、ケースの変形や故障の原因となります。 ・放射温度計は非接触式の温度計です。測定対象物に接触させないでください。特に高温になっている測定対象物に接触させると、誤った測定結果を表示したり、故障の原因となります。 ・本器をアルコール、シンナー、その他溶剤などで洗ったり、拭いたりしないでください。汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませたタオルなどをよくしぼってから拭いてください。 ・長期間使用しない場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。乾電池を入れたままにしておきますと乾電池から液漏れする場合があります。 ・不要になった乾電池は火中に投入しないでください。 ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。 ・環境保全のため使用済み乾電池はそれぞれの自治体の条例に基づいて処理するようにお願いします。 <p>※修理・校正はお買いあげ店または弊社へお申し付けください。</p>

概要

SK-130ITHは赤外線放射温度計が一体となった、ハンディタイプの温湿度計です。大気中の温度・湿度の測定に加え、赤外線放射温度計により測定対象物に直接接触することなく、素早く表面温度を測定することができます。また、大気中の温度・湿度から露点を演算することができます。

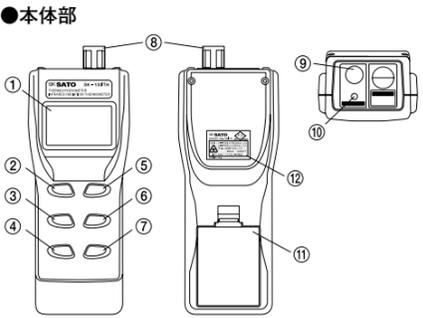
特徴

- ・ハンディタイプで持ち運びに便利です。
- ・液晶バックライト付きで、暗い場所での測定にも便利です。
- ・本器の演算機能により、温度・湿度から湿球温度、露点を表示することができます。
- ・結露チェック機能付きです。露点（演算値）と表面温度の差を表示するため、結露防止の目安としてご使用できます。
- ・オートパワーオフ機能付きで、電源切り忘れ等の無駄な乾電池消耗を防止いたします。
- ・赤外線放射温度計は対象物に合わせて放射率を0.30～0.99の範囲より0.01単位で設定できます。
- ・赤外線放射温度計は測定エリアが一目で分かるレーザーマーカ（1点）付きです。
- ・温湿度検出部収納機能付きで、センサを埃などから守ります。

目次

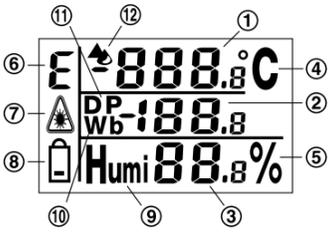
	頁
各部の名称	1
乾電池のセット方法	2
測定方法	3
●温湿度の測定	3
●表面温度の測定	3
放射率の設定	4
レーザーマーカの設定	4
バックライトの設定	5
オートパワーオフ	5
その他の機能	6
●露点表示機能	6
●湿球温度表示機能	6
●結露チェック機能	6
保守	6
エラーメッセージ	6
仕様	7
インターネットホームページ	7
保証規定	7
品質保証書	

各部の名称



- 本体部
- ①表示部
測定値や本器の状態を示します。
※詳しくはP.2「表示部」をご参照ください。
 - ②Scanキー
電源がON状態の時にキーを押すと放射温度計による表面温度測定を行います。電源がOFF状態の時にキーを押すと自動的に電源が入り、素早く表面温度測定を行います。
 - ③PWR/SETキー
キーを押すと本器に電源が入ります。電源がON状態の時に2秒以上押し続けると、電源が切れます。電源がON状態の時に押すと、オートパワーオフの時間設定および放射率の設定ができます。
 - ④BACK LIGHTキー
電源がON状態の時にキーを押すと、バックライトが点灯します。もう一度押すとバックライトが消灯します。
 - ⑤DP/WB/▲キー
キーを押すと温度、露点(DP)と湿球温度(WB)の選択ができます。
2秒以上押すと表面温度と露点の温度差(▲)を表示します。
 - ⑥▲キー
オートパワーオフの時間設定および放射率の設定値を変更します。
キーを押すごとに値が増加します。
 - ⑦▼/LASERキー
オートパワーオフの時間設定および放射率の設定値を変更します。
キーを押すごとに値が減少します。
Scanキーを押しながら、▼/LASERキーを押すと、レーザーマーカのON/OFF切り替えができます。
 - ⑧温湿度検出部
温度・湿度のセンサです。
検出部を押すと、温湿度測定状態または収納状態に切り替えることができます。
(図は温湿度測定状態です。)
 - ⑨赤外線検知部（測定窓）
被測定物から放射されている赤外線エネルギーを検知します。
 - ⑩レーザー照射部
レーザーマーカON設定時に測定キーを押すとレーザーマーカを照射します。
 - ⑪電池カバー／電池BOX
乾電池のセット部分です。
 - ⑫ラベル警告部
JIS C 6802 レーザ製品安全基準および消費生活用製品安全法に基づいたラベルです。



- 表示部
- 
- ①表面温度表示部
表面温度の測定値や表面温度と露点の差(▲)を表示します。
 - ②温度表示部
温度測定値、湿球温度、露点を表示します。
 - ③湿度表示部
湿度測定値を表示します。
 - ④℃
温度単位（摂氏温度）です。
 - ⑤%
湿度単位（相対湿度）です。
 - ⑥E
放射率設定のマークです。
放射温度計の放射率設定のときに点滅します。
 - ⑦▲
レーザー出力の警告マークです。レーザーが照射されているときに点灯します。
 - ⑧ローバッテリーマーク
電池残量が少なくなると点滅します。
 - ⑨Humi
湿度(Humidity)を表しています。
 - ⑩Wb
湿球温度を表示しているときに点灯します。
 - ⑪DP
露点を表示しているときに点灯します。
 - ⑫▲
結露チェックのマークです。表面温度と露点の温度差を表示しているときに点灯します。

乾電池のセット方法

- 本器を初めてご使用する場合やローバッテリーマークが点灯した場合は以下の手順で乾電池をセットしてください。
- ①本体裏面の電池カバーをはずしてください
 - ②電池BOX内の表示に従って、乾電池の向き(⊕、⊖)を間違えないように単4乾電池を4本セットしてください。
 - ③電池カバーを取り付けてください。

注意	
	<p>●表示部にローバッテリーマークが点灯したときは、速やかに新しい乾電池と交換してください。</p> <p>●ローバッテリーマークが点灯した状態でご使用しますと、正しい測定ができません。</p> <p>●乾電池は4本とも同じ種類で新しいものをご使用ください。</p> <p>●不要になった乾電池は火中に投入しないでください。</p>

